




ALESIS®

STRIKE
MULTIPAD

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低15センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部
 東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階
 [Web] alesis.jp/
 [サポート] alesis.jp/support

ユーザーガイド

はじめに

Alesis の Strike Multipad をご購入頂き誠にありがとうございます。私たちは、音楽がどれほどお客様にとって大切か認識した上で、「お客様のパフォーマンスを最善のものにする」ことを念頭に、製品を製作しております。

同梱物

- Strike Multipad 本体
- 電源アダプター
- クイックスタートガイド/保証書

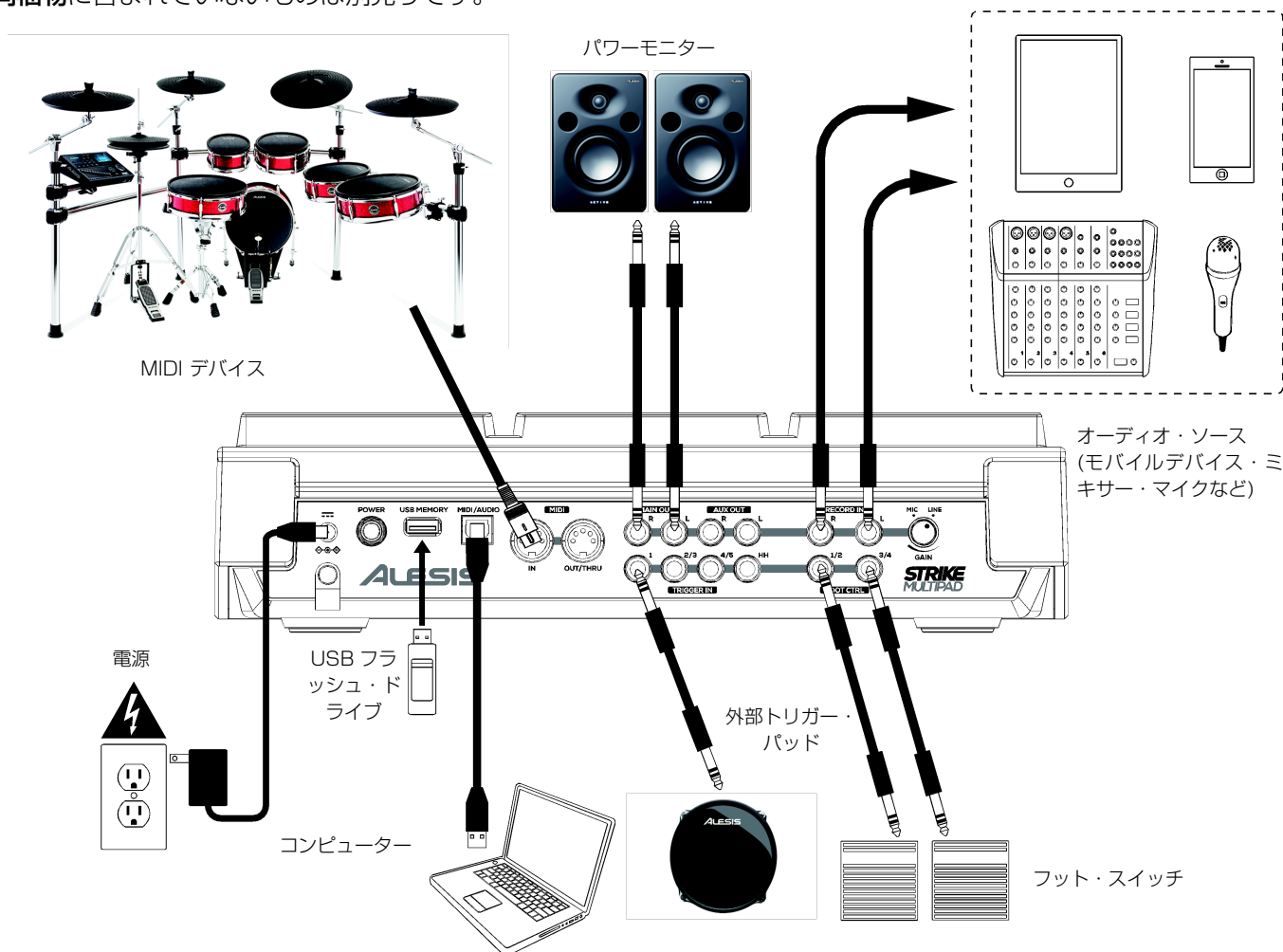
サポート

本製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、Alesis の WEB サイト alesis.jp/ をご確認ください。また、修理や操作方法についてのお問い合わせは、カスタマーサポート

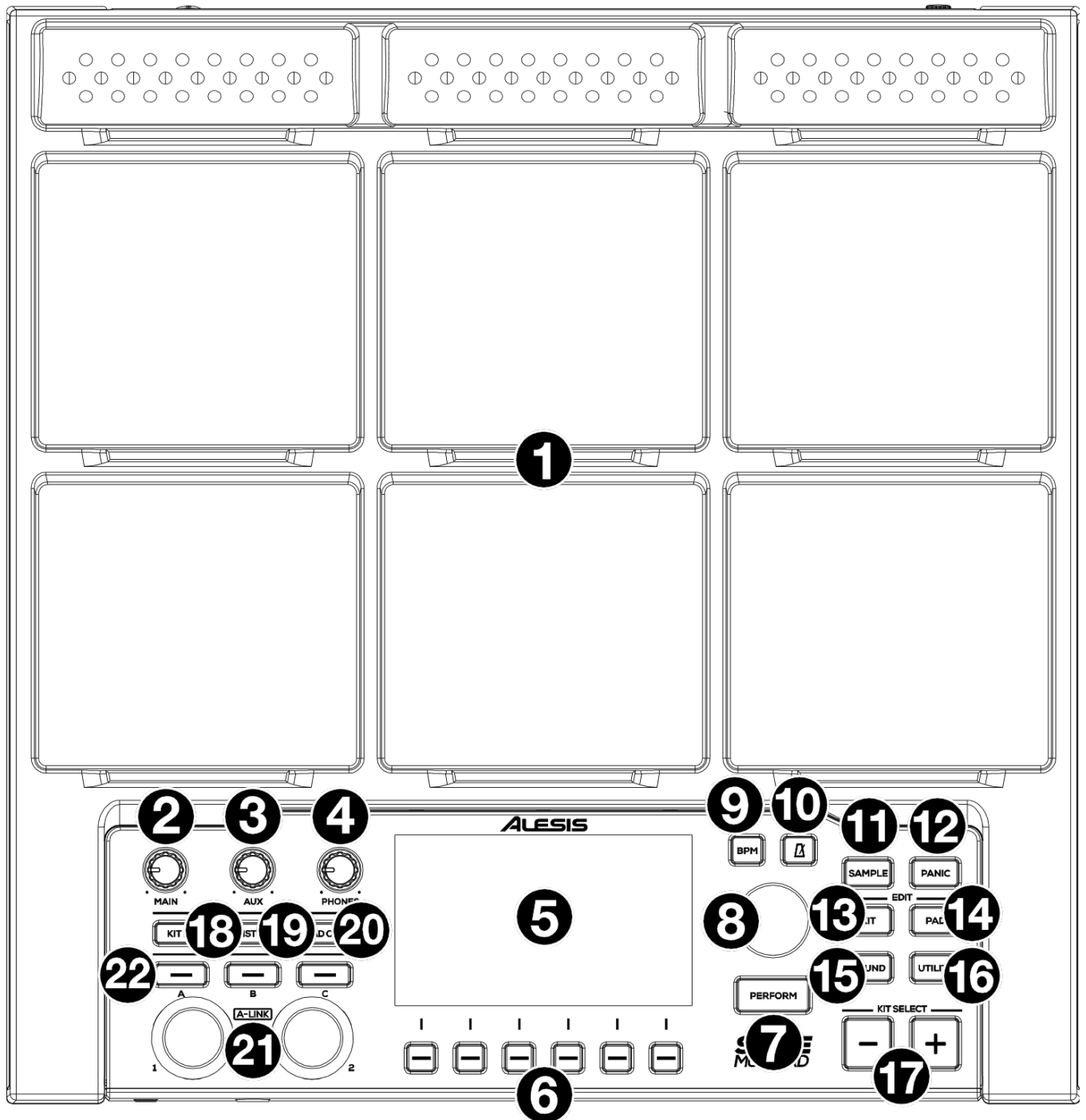
alesis.jp/support/ にご連絡ください。

セットアップ

※同梱物に含まれていないものは別売りです。



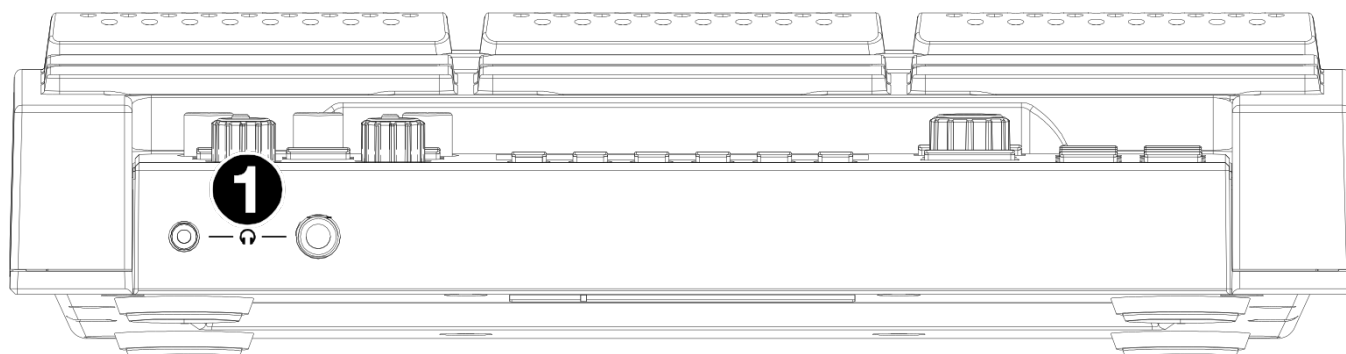
トップパネル



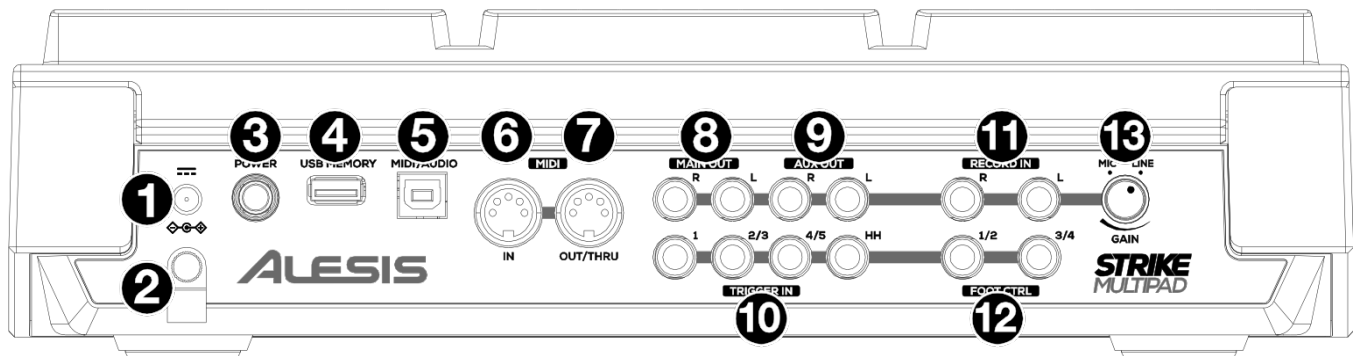
1. パッド：サンプルをトリガーするか、コントロール機能を実行できます。
2. MAIN ノブ：リア・パネルのメイン出力の音量を調節します。
3. AUX ノブ：リアパネルの AUX 出力の音量を調節します。
4. PHONES ノブ：フロント・パネルのヘッドフォン出力の音量を調節します。
5. ディスプレイ：キット、パッド、エフェクト、サンプルを編集できます。このフルカラーディスプレイに現在のキット、設定などの情報が表示されます。ファンクションボタン (F1-F6) でディスプレイ下部に表示されるタブおよび機能を選択します。
6. ファンクションボタン (F1-F6) でディスプレイ下部に表示されるタブおよび機能を選択します。

7. **PERFORM ボタン**：このボタンを複数回押すと、パッド・ビュー、トリガー・イン・ビュー、フット・コントロール・ビューの3つのページが実行されます。詳細については、**基本操作 > パフォーマンス・モード**を参照してください。
8. **メイン・エンコーダ**：ディスプレイに表示されている設定を調整します。このノブを回すと、設定とパラメータがスクロールします。設定を編集するには、エンコーダを押して設定を選択し、エンコーダを回して値を調整し、エンコーダをもう一度押して変更を保存します。
9. **BPM**：BPM と拍子の設定ポップアップが表示されます。**メイン・エンコーダ**を使用して設定を調整します。また、**F3** または **F4** ボタンを使ってタップテンポにすることもできます。
10. **クリック**：このボタンを短く押して、クリックをオンまたはオフにします。オンの場合、このボタンは現在の BPM で点滅し、割り当てられたオーディオ出力にクリックが再生されます。このボタンを押し続けると、クリックのサウンド、レベル、パン、インターバル、出力の設定を編集できます。
11. **SAMPLE**：このボタンを押すと、コンピューターに接続された録音入力または USB MIDI / Audio ポートからのオーディオを録音する**サンプル・モード**に入ります。詳細については、**基本操作>キットとサウンドの設定>サンプルの録音**を参照してください。
12. **PANIC**：すべての出力のすべてのサウンドが即座に停止します。
13. **KIT**：キットの一覧が表示され、キットレベルの設定を編集できます。
14. **PAD**：RGB ライト、パッドレスポンス、出カルーティングなどの各パッドの設定を編集できます。
15. **SOUND**：Strike Multipad に同梱されている多くのサウンドを参照または編集したり、サウンドをインポートしたりできます。
16. **UTILITY**：グローバル設定を編集し、ユーザーデータをバックアップします。
17. **KIT SELECT**：キットを選択します。
18. **KIT FX**：Kit FX モードに入ります。ここで、3つのキット FX 設定を編集し、個々のパッド、トリガー入力、フット・スイッチに適用します。
19. **MST FX**：Master FX モードに入り、**メイン出力**にルーティングされたすべての信号にエフェクト、EQ、コンプレッションをかけることができます。
20. **PAD CUE**：ヘッドフォン出力にのみサウンドを出力することができます。アクティブにすると、ボタン LED が点滅し、トリガーされたパッドはメインオーディオ出力を中断せずに直接ヘッドフォンに送られます。
21. **A-LINK エンコーダ**：パッド・パラメータや FX パラメータをコントロールできます。**その他の機能>A-Link** を参照してください。
22. **A-LINK バンク・ボタン**：A-LINK エンコーダの割り当て可能なバンクを選択します。これらのボタンの1つを押し続けて、そのバンクのエンコーダの割り当てを編集します。

フロント・パネル



1. **ヘッドフォン出力** (1/8 インチ、3.5 mm または 1/4 インチ、6.35 mm)：ステレオ・ヘッドフォンをこの入力に接続します。**PHONES ノブ**で音量を調整します。



1. **電源入力**：付属の電源アダプタ（9 V DC、1,500 mA）を接続します。
2. **ケーブルの留め具**：電源アダプタのケーブルをここに固定すると、故意にケーブルが抜けなくなります。
3. **POWER(電源スイッチ)**：ドラムモジュールの電源を入れます。すべての入力デバイスを接続してから、接続されているスピーカーの電源を入れる前に電源をオンにしてください。ドラムモジュールの電源を切るには、このボタンを長押しします。電源を切ると、すべての設定が自動的に保存されます。ドラムモジュールの電源を切る前に、ラウドスピーカーの電源を切ってください。
4. **USB メモリー**：USB フラッシュドライブを接続して、WAV ファイル、キット、グローバル設定を読み込んで保存します。詳細については、**基本操作>キットとサウンドの設定>USB からのファイルのインポート**を参照してください。
5. **USB MIDI /オーディオ**：この USB ポートをコンピューターの USB ポートに接続するには、USB ケーブルを使用します。USB 接続により、コンピューターとの間で MIDI 情報と音声情報を送受信します。
6. **MIDI 入力 (5 ピン DIN)**：外部 MIDI 機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 出力に接続します。
7. **MIDI 出力 / スルー (5 ピン DIN)**：外部 MIDI 機器（シンセサイザー、ドラムマシンなど）の MIDI 入力に接続します。スルーモードでは、MIDI 入力から受信した MIDI はこの出力からそのまま出力されます。スルーモードを有効にするには、**Utility > MIDI**に進み、MIDI Thru の設定を **On** にします。
8. **MAIN OUT (メイン出力)** 1/4 "/6.35 mm、TS：ラウドスピーカー、オーディオインターフェイスなどに接続します。トップパネルの **Main ノブ**を回して音量を調整します。
9. **AUX OUT (Aux 出力)** 1/4 "/6.35 mm、TS：オーディオ信号を別の機器にルーティングします。Edit Pad > Output menu でオーディオ出力の設定を変更することで、各パッド、トリガー入力、フットコントロールからメイン出力、AUX 出力に個別にサウンドをルーティングすることができます。
10. **TRIGGER IN (トリガー入力)** 1/4 "/6.35 mm、TS および TRS：アコースティック用ドラムトリガーまたは電子ドラム用パッドに接続します。接続してトリガーを叩くとドラムモジュールに電気信号が送られ、対応するサウンドがトリガーされます。トリガー入力 1 はシングルゾーン接続で、トリガー入力 2/3 と 4/5 は、デュアルゾーン接続です。HH ペダルは、オン/オフコントロールまたは可変フットコントローラーに接続できます。
11. **RECORD IN (レコード入力)** 1/4 インチ/6.35 mm、TS：スマートフォン、マイク、楽器、ミキサーなどのオーディオ・ソースにこれらの入力を接続し、サンプルを録音してパッドに割り当てることができます。これらの入力からのサウンドは、メイン、AUX、フォンにも出力されます。ルーティングと音量を変更するには、**Utility > Audio**メニューに移動します。
12. **FOOT CTRL IN (フットコントロール)** 1/4 "/6.35 mm、TRS：追加のサウンドやコントロール機能のために、オプションのフットスイッチをこれらの入力に接続します。
13. **MIC/LINE(マイク/ライン)ゲイン**：レコード入力のゲインレベルを設定します。マイクレベルの入力を使用している場合は、ノブをマイク設定の方向に回してください。ラインレベル入力を使用している場合は、ノブをライン設定の方向に回してください。入力レベルを編集するには、サンプルモードで信号メーターを使用します。

基本操作

パフォーマンス・モード

パフォーマンス・モードは、Strike Multipad のメインモードです。現在のキットに関する情報を表示、新しいキットを選択、エフェクトを有効または無効にしたり、内蔵のルーパー機能にアクセスしたりすることができます。

現在のキット名と BPM が Perform Mode の上の部分に表示されます。



- **キットを変更するには、Kit Select -/+ ボタン**を使います。
- **F1 ボタン**を押して Preset キットと User キットを切り替えます。

パフォーマンス・モードには、**Pad View**、**Trigger In View**、**Foot Control View** の3つのページがあります。実行ボタンを複数回押して、これらのビューを繰り返します。

- **Pad View** : Strike Multipad の電源が入っているときや、他のモードやメニューで **Perform ボタン**が押されているときは、Pad View がデフォルトの表示になります。このビューには、9つのパッドに関する情報が表示されます。各パッドアイコンには、パッドに設定されているストップカラー、サウンドファイル名またはコントロール・パラメーター、再生モード（コントロール、ループ、ワンショット、ワンショットオルト）が表示されます。
 - **コントロール** :
 - **ループ** :
 - **ワンショット** :
 - **ワンショットオルト** :
- **Trigger In View** : Trigger In View は Pad View と同じ情報を表示します。パッドの代わりに**トリガー入力**の情報を表示します。
- **Foot Control View** : フット・コントロール・ビューはパッド・ビューと同じ情報を表示しますが、パッドの代わりに4つの**フットコントロール入力**を表示します。

Effect View (エフェクト・ビュー)

Perform Mode では **F6-View** を押すと**ファンクションボタン F2~F5** の2種類のビューを切り替えることもできます。Effect View は Strike Multipad が起動したときの表示されるビューです。

Effect View ではこれらのファンクションボタンは以下のように使われます。

- **F2-F4 - FX1 / FX2 / FX3 トグル** : これらのボタンを押してそれぞれのエフェクトのオン/オフを切り替えます。
- **F5 - Master FX トグル** : 各エフェクトのオン/オフを切り替えます。

詳細は、**その他の機能 > エフェクト**を参照してください。

Looper View (ルーパー・ビュー)

パフォーマンス・モード中に **F6-View** ファンクションボタンを押して、内蔵ルーパーのオン/オフを切り替えます。

ルーパーがアクティブのとき、録音に関する以下のパラメータを設定できます。

- **小節数** : **F4** ボタンを押すと、現在のグローバルに設定された拍子と BPM 設定に従って、ループの長さが切り替わります。1-8、12、16、のいずれかが設定でき、デフォルト設定は 4 小節です。
- **After Recording** : **F5** ボタンを押すと Settings が開きます。ここでレコーディングが完了のちのルーパーの動作を設定します。ループを再生モードにするには **Playback** を選択します。**Overdub** でオーバーダビング録音になります。
- **BPM と拍子** : 現在のグローバル BPM と拍子の設定を表示します。値を変更するには、BPM ボタンを押します。



ループの録音

ループのパラメータを設定したら、録音を開始できます。

1. **F3-Arm to Record** を押して、録音の準備をします。いつでも **F2-Cancel** を押して録音準備を解除できます。
2. **F3-Start Rec** を押して録音を開始します。1 回押すとクリックが有効になり 1 小節のカウントダウンが始まります。Looper コントロールの上に表示されるプログレスバーは Time Signature 設定で選択した小節数と拍数を反映します。
3. 録音が始されると、ディスプレイには設定した拍数と小節数に従って動く赤のプログレスバーが表示されます。拍数と小節数はバーの右側にも表示されます。

録音中は、**F3-Recording** ボタンを押して録音を停止し、次のダウンビートで再生モードに入ることができます。

F2-Cancel を押すことで録音をキャンセルし、前のページに戻ります。

4. 設定した拍数と小節数の録音が終わるとルーパーが再生モードに入ります。プログレスバーは緑色に変わります。再生モードでのファンクションボタンのオプションは以下の通りです。
 - **F2-Play/Stop** : ループ再生を停止または開始します。
 - **F3-Start Dub** : 押したらすぐに上書き録音を開始します。プログレスバーが赤くなり、録音が有効になっていることを示します。ディスプレイに **Dubbing** と表示されます。このボタンをもう一度押すか、**F2-Play/Stop** を押してオーバーダビングを停止します。
 - **F4-Save** : 現在のループを WAV ファイルとして保存します。保存されたループは自動的に **User > New Sample** カテゴリに保存されます。
 - **F5-Cancel** : 再生を停止しているとき、このボタンを押して録音を削除し Arm to Record モードに戻ります。確認ウィンドウが表示されます。**メイン・エンコーダ**で **No** を選んで前のページに戻るか、**Yes** を選択してループを破棄します。

キットとサウンドの設定

Strike Multipad には 30 個の Preset キットがあり、自由にカスタマイズできます。70 個の空いている User キットを使用して、ゼロからキットを作成することもできます。Kit、Pad、Sound メニューは、キットの作成とカスタマイズに使用します。Utility メニューでは Strike Multipad のグローバル設定を行ないます。詳しくはメニューを参照してください。

KitFX と MstFX のメニューは、エフェクトの編集と適用に使用します。詳しくはその他の機能 > エフェクトを参照してください。

ツールバー

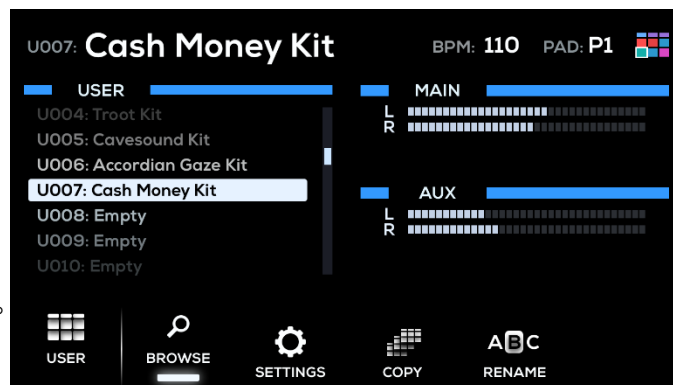
Kit、Pad、Sound の各メニューでは、ディスプレイ上部のツールバーに以下の情報が表示されます：

- **キット名**：現在のキットの名前を表示します。キットを交換するには、**Kit Select** ボタンを押します。
- **BPM**：現在のキットの BPM を表示します。BPM を編集するには、**BPM** ボタンを押します。**エンコーダ**を回して値を調整し、押して確定します。または **F3** または **F4** ボタンをタップして、ダウンビートを 3 回以上タップします。
- **パッド**：現在選択されて表示されているパッドを表示します（画像参照）。

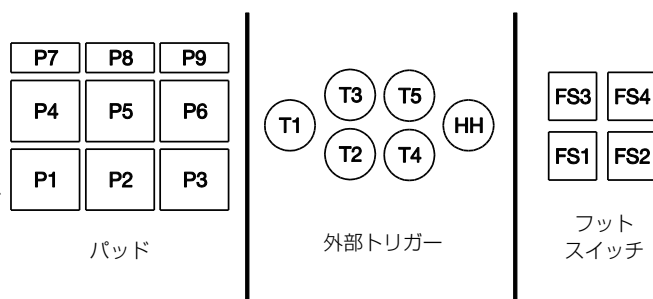
P1～P9 を選択すると、各パッド LED に割り当てられているストップカラーを表示します（パッド編集メニューで色が割り当てられます）。選択されているパッドは、白い輪郭で囲われます。

T1-T5 または HH が選択されている場合、パッド選択図は外部トリガー（すべて同じ色）を表示するように変更され、選択されたものがハイライト表示されます。

FS1-FS4 が選択されている場合、パッド選択グラフィックには選択されているフットスイッチがハイライト表示されます。

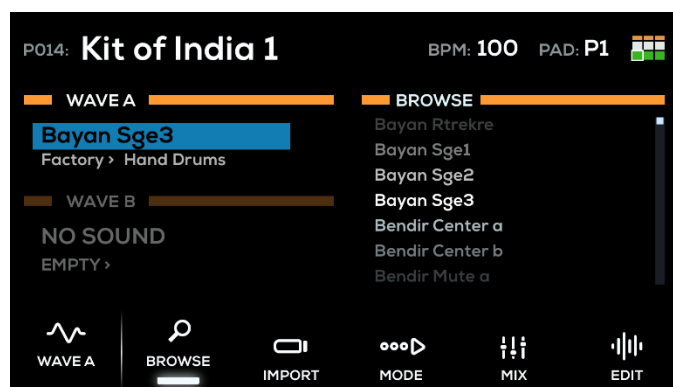


Kit Menu (キット・メニュー)



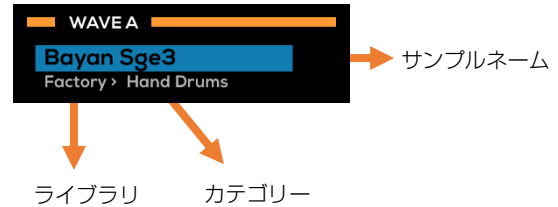
サウンドのブラウズと追加

1. **Kit** ボタンを押して、キットメニューを開きます。ここでは、**F1** ボタンを押して **Preset** キットと **User** キットのオプションを選択できます。
2. **メイン・エンコーダ**を回して、カスタマイズするキットを選択します。キットが自動的に選択され、キット名がディスプレイ上部のツールバーに表示されます。
3. **Sound** ボタンを押してサウンド・メニューを開きます。**F2-Browse** ページは、サウンド編集モードに入ったときのデフォルトの表示で、カテゴリやサンプルを参照できます。
4. パッド、外部トリガー、フットスイッチをヒットして、選択するサウンドを追加します。WAVE セクションにはそれぞれ、**ライブラリ>カテゴリ**に **Sample Name** フィールドがあります。



Sound Menu (サウンド・メニュー)

- ライブラリを選択して起動します。**メイン・エンコーダ**を回し、ライブラリ・フィールドを青く強調させます。エンコーダをもう一度押してライブラリを選択します。このフィールドが選択されると白くハイライト表示され、エンコーダを回して内蔵されたサウンドを選択することができます。エンコーダをもう一度押してライブラリを選択します。



- メイン・エンコーダ**を回してカテゴリ・フィールドを選択します。エンコーダを押してフィールドを選択してから回して現在選択されているライブラリのカテゴリを参照します。エンコーダをもう一度押してカテゴリを選択します。
- メイン・エンコーダ**を回して、サンプルネームフィールドを選択します。現在選択されているカテゴリのサンプルリストが、**Browse** の下のディスプレイの右側に表示されます。エンコーダを押してブラウザフィールドにカーソルを移動し、それを回してサンプルのリストをブラウズします。エンコーダをもう一度押すと、ハイライト表示されたサンプルが選択したウェーブに読み込まれます。
- サンプルを追加したら、**サウンド・メニュー**の **F4-Mode** および **F5-Mix** ボタンを使用して、再生モード、Poly/Mono、音量、Pan などのサンプル設定を調整できます。

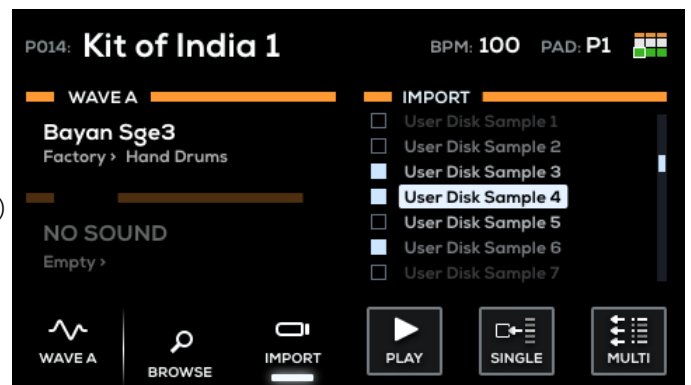
USB からのファイルのインポート

初期設定のプリセットサウンドに加えて、新しいサウンドをユーザーライブラリにインポートして、キットに追加することもできます。

- コンピューターからサウンドファイルを USB フラッシュドライブに追加します（マストレージクラス）。

重要：フラッシュドライブは FAT32 を使用してフォーマットする必要があります。すべての WAV ファイルは 44.1 KHz / 16 ビットで、ドライブのルート・ディレクトリ（フォルダまたはサブフォルダには含まれていません）に配置してください。

- USB フラッシュドライブをリア・パネルの **USB メモリ一端子**に挿入します
- Sound** ボタンを押して Sound メニューを開き、サンプルをインポートするパッド、トリガーイン、フット・コントロールをヒットします。



Sound Menu (サウンド・メニュー)

- F3-Import** ボタンを押し、USB スキャンが完了するのを待ちます。Strike Multipad が USB フラッシュドライブを読み取れない場合、エラーメッセージがディスプレイに表示され、ブラウズ画面に戻ります。
- USB フラッシュドライブ内に WAV ファイルが見つかったらインポートリストに表示されます。**メイン・エンコーダ**を使用してスクロールしサンプルを選択します。ブラウズ中に **F4-Play/Stop** を押すとハイライト表示されたファイルを聞くことができます。
- F5-Single** ボタンを押すと、選択した WAV を現在選択されているパッドにすばやくインポートできます。一度に複数のサンプルをインポートする場合は、**メイン・エンコーダ**を使用してサンプルを選択し、**F6-Multi** ボタンを押してインポートを開始します。
- サンプルのインポートが終了すると、サンプルは現在選択されているパッドの Wave A または B に自動的に追加され、**New Sample** カテゴリの **User Library** に割り当てられます。

注：サンプルは **Single** インポートが使用されている場合にのみ自動的に追加されます。

- 他のサンプルを他のパッドに追加するには、他のパッドを選択するだけです。インポートリストはそのまま、パッドをすばやく選択してから、サンプルを選択/インポートします。その後、別のパッドを選択して別のサンプルをインポートすることができます。
- 新しくインポートしたすべてのサンプルを表示するには、**F2-Browse** ボタンを押して、**User Library**、**New Samples Category** を選択します。

サンプルの録音

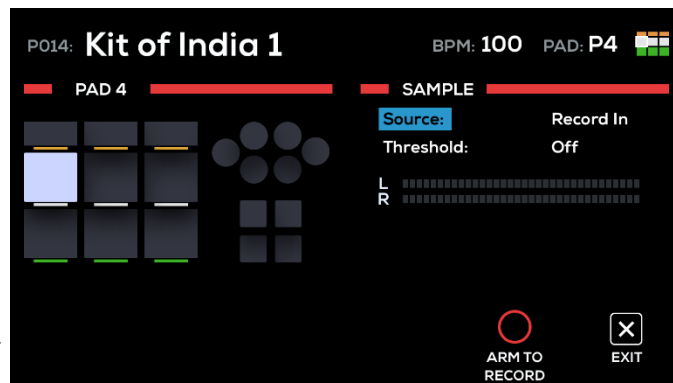
Strike Multipad を使用して、レコード入力に接続されたモバイル機器、楽器、マイク、その他の機器からサンプルを作成できます。USB オーディオ端子を使ってコンピューターから直接作成することもできます。

Strike Multipad で使用するサンプルを録音するには：

1. **Sample** ボタンを押して、Sample メニューを開きます。
2. **メイン・エンコーダ**を回して、**Source** を **Record In** か **USB Audio** に設定します。

注意：お使いのコンピューターのオーディオ出力オプションとして **Alesis Strike Multipad** を選択してください。

3. 必要に応じて、録音を自動的に開始するようにスレッシュホールド・レベルを設定します。録音を自動開始しない場合は、**メイン・エンコーダ**を使用して、スレッシュホールドを **0 dB** になるまで上げてください。
4. **F5- Arm to Record** を押して録音を開始します。
5. 録音ソース（ターンテーブル、ミキサー、スマートフォン、コンピューターなど）を最適な出力レベルに調整します。必要に応じて、ソースを再生してディスプレイの入力メーターのレベルを表示します。
6. 録音を開始する準備ができたなら、**F5-Start Recording** を開始します。**F6-Exit** を押すことで録音準備を解除できます。
7. 録音が終了したら、**F5-Stop Recording** を押します。いつでも **F6-Exit** も使えます。
8. 録音をプレビューするには、**F4-Play/Stop** を押します。結果に満足すれば、**F5-Save** を押してサンプルを保存します。選択されているパッド、トリガーイン、フットコントロールが現在のキットに自動的に追加されます。



Sample メニュー

メニュー

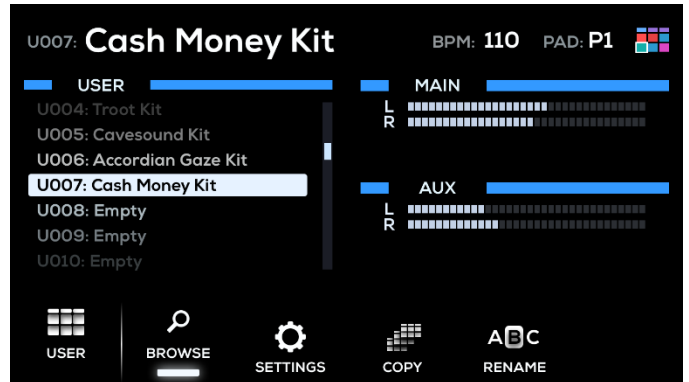
キット・メニュー

キット・メニューでは使用可能なキットのブラウズと管理、キット設定の編集ができます。

F1ファンクションボタンを押すとPresetキットとUserキットが切り替わります。ディスプレイ上部のツールバーには現在のキットが表示されます。

ブラウズ

F2-Browseボタンを押すとBrowseメニューが開き、使用可能なキットを検索することができます。メイン・エンコーダを回してリストをスクロールすると、強調されたキットが自動的にロードされます。



ディスプレイの右側に2つのレベルメーターが表示されます。Mainレベルメーターはメイン出力のレベル、AuxレベルメーターはAux出力のレベルを表示します。

設定

F3-Settingsボタンを押すとKit Settingsメニューが開き、キットのパラメータを編集できます。

パラメータ	説明	値/設定
Kit Level	これはキット全体のボリュームです。	0-100 (デフォルトは 90)
Kit Tempo	キットのテンポで BPM 表示です。この設定はキットがロードされたときに Global Tempo 設定より優先されます。	30-280 BPM (120BPM がデフォルト)
Kit Time Sig	これはキットの拍子です。この設定はキットがロードされたときに Global Time Sig 設定より優先されます。	1/2 - 9/2, 1/4 - 9/4, 1/8 - 9/8, 1/16 - 9/16 (4/4 がデフォルトです)
Logo Color	これは Strike Multipad の背面と側面にある Alesis ロゴの色です。ユーティリティ以外のメニュー内のウェーブバーの色も変わります。	Red, Coral, Deep Pink, Light Pink, Magenta, Purple, Plum, Blue, Sky Blue, Cyan, Aquamarine, Lime, Green, Yellow, Orange, Orange Red, White
Logo Mode	Strike Multipad の背面と側面にある Alesis ロゴの照明エフェクトの調整を行ないます。	Off : ライトを消します。 Color Soft : やや暗く点灯します。 Color Medium : やや明るく点灯します。 Color Full : 明るく点灯します。 Trigger : トリガーされると暗~明に変化します。 BPM Pulse : キットのテンポと同期して照明が点滅します。 Audio Level : オーディオ出力レベルに応じて点滅します。
Logo Beat	Logo Mode が BPM Pulse に設定されるとライトの点滅は設定されているリズムと同じになります。	1/2, 1/4, 1/8, 1/16

コピー

F3-Copyボタンを押して、Kit Copyメニューを開きます。このメニューで次の機能を実行します。

- **Copy Current Kit** : ディスプレイ左上に表示されている、現在選択されているキットをコピーします。
- **Paste to Current Kit** : コピーしたキットを現在選択されているキットにペーストします。
- **Swap with Current Kit** : コピーしたキットを現在選択されたキットと入れ替えます。

キットのコピー :

1. **Kit Select**ボタンでコピーするキットを選択します。**F1**ファンクションボタンを押すとPresetキットとUserキットが切り替わります。
2. **メイン・エンコーダ**を使用し**Copy Selected Kit**をハイライト表示します。エンコーダを押すと選択されます。コピーしたキットの情報が表示されます。
3. **Kit Select**ボタンでコピーするキットを選択します。**F1**ファンクションボタンを押すとPresetキットとUserキットが切り替わります。コピーしたキットは他のキットがコピーされるかStrike Multipadの電源を落とすまで保持されます。
4. **メイン・エンコーダ**を使用して**Paste To Current Kit**をハイライト表示し、押して現在選択されているキットをコピーしたキットに置き換えます。

または、**メイン・エンコーダ**で**Swap With Current Kit**をハイライト表示し、押して現在選択されているキットとコピーされているキットを入れ換えます。

いずれの場合も2秒間確認画面が表示されます。

リネーム

F4-Browseボタンを押すと**Rename Kit**ウインドウが開き、キットの名前を付けることができます。このウインドウが開いている間、**ファンクションボタン**は次の動きをします。

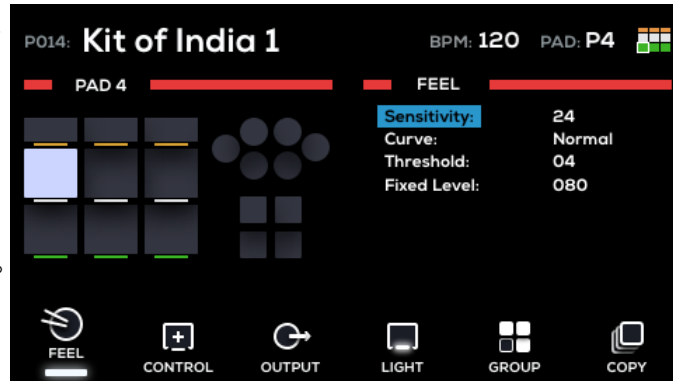
- **F1-Type** : 大文字、小文字、数字および記号を切り替えます。メイン・エンコーダで選択します。
- **F2-Insert** : ハイライト表示された文字の前に文字を挿入します。
- **F3-Delete** : ハイライト表示した文字を削除します。
- **F4-Clear** : すべての文字を消去します。
- **F5-Save** : キット名を保存します。
- **F6-Exit** : 保存せずに終了します。

パッド・メニュー

パッド・メニューではパッドに関する全パラメータを表示し、編集ができます。

ディスプレイの左側にパッド、トリガー、フットスイッチが表示されます。現在選択されているコントロールがハイライト表示されます。

ディスプレイの右側には編集集中のパラメータが表示されます。詳しくは以下を参照してください。



Feel

F1- Feelボタンを押してパッドをプレイするときのダイナミクスを調整します。

パラメータ	説明	値/設定
Sensitivity	パッド、トリガー、フットスイッチのゲインコントロールです。高く設定すると軽く叩いても大きな音が鳴ります。このパラメータは音を聞きながら調整します。パッドを軽く叩いているのに音が大きすぎると感じる時は、セッティングを下げます。	01-32
Curve	演奏の強さがどのようにサウンドの大きさに影響するかを調整します。演奏中のパッドやトリガーのダイナミクスの変化を調整するということです。デフォルト設定ですべてのパッドとトリガーは Normal になっています。この設定で正確かつ自然に演奏ができます。	Normal, Exp1, Exp2, Log1, Log2, Loud
Threshold	ここではサウンドを慣らすためにどのくらいのベロシティ（力）が必要かを設定します。高く設定すると、パッドを叩いたりトリガーして音を出す際により強い力が必要になります。弱い設定では軽く叩いても音が鳴ります。 この設定は、アコースティックドラムのトリガーが Trigger In に接続されていて、なおかつ近くのスピーカからのベースなどの低音が予期しないトリガーを引き起こしているときに使用するのが一般的です。この場合スレッシュホルドの設定を高くします。	00-32 (04 がデフォルトです)
Fixed Level	この設定ではパッドやトリガー、フットスイッチの叩く強さとは関係なく、設定したベロシティで音を慣らすことができます。あなたの演奏のダイナミクスにサウンドが反応するようにしたいときは Off にします。	Off, 001-127

Control

F2-Controlボタンを押すと、サウンドの再生に関する各パッドのコントロールのモードを編集します。

パラメータ	説明	値/設定
Mode	この設定はパッドがトリガーされたときどのコントロールが行われるかを設定します。	<p>Off : パッドをトリガーしてもコントロール機能は実行しません。</p> <p>Next Kit : 次のキットをロードします。</p> <p>Previous Kit : 前のキットをロードします。</p> <p>Click On/Off : クリックのオンとオフを切り替えます。</p> <p>Tap Tempo : パッドがタップテンポとして機能します。</p> <p>Panic : MIDI パニックメッセージを送信し、すべての音を止めます。</p> <p>Looper Rec : Looper の録音状態をコントロールします。Loop View がアクティブである必要があります。</p> <p>最初のトリガーで Looper を Arm から Record to Start Record に設定します。次のトリガーでカウントダウンから録音が始まる設定になります。設定した小節が経過する前にもう一度トリガーすると、Looper はレコーディングを停止し次の小節の 1 拍目で再生状態になります。再生が開始されると、トリガーはオーバーダビング録音の開始と停止になります。</p> <p>Looper Play/Stop : ループ再生の開始と停止です。Loop View がアクティブで、ループに何か録音されている必要があります。</p> <p>Kit FX 1 On/Off : Kit FX1 のオン/オフを切り替えます。</p> <p>Kit FX2 On/Off : Kit FX2 のオン/オフを切り替えます。</p> <p>Kit FX 3 On/Off : Kit FX3 のオン/オフを切り替えます。</p> <p>MST FX On/Off : Master Effect のオン/オフを切り替えます。</p>
Sound	この設定でサウンドがトリガーされるかどうかを設定します。	On, Off

Output

F3-Outputボタンを押してパッドの出力を設定します。

パラメータ	説明	値/設定
Audio Output	パッド、トリガー、フットスイッチのオーディオ出力に関するルーティングを設定します。	Main+Phone, FX1-3, Aux+Phone, Phone Only
Kit FX Level	キットに適用するエフェクトの出力レベルを決定します。	000-127

MIDI Note Output パッド、トリガー、フットスイッチを押したときに送信される MIDI ノートを決定します。 **000-127**

Light

F4-Lightボタンを押してパッドLEDの設定を編集します。

パラメータ	説明	値/設定
Play Color	パッド / トリガーのアクティブ時の LED カラーを決定します。	Red, Coral, Deep Pink, Light Pink, Magenta, Purple, Plum, Blue, Sky Blue, Cyan, Aquamarine, Lime, Green, Yellow, Orange, Orange Red, White
Play Mode	パッドとトリガーLED がアクティブのときの動作を決定します。	<p>Off : トリガーされても Stop Mode でのセッティングに準じます。</p> <p>Trigger : トリガーされると暗い～明るいに変化します。</p> <p>Audio Meter : ライトはパッドの音量レベルを示すメーターになります (左から右)。</p> <p>Audio Breath : サウンドの音量により暗く～明るく点滅します。</p> <p>Fill : 音の長さにより左から右にライトが移動します。</p> <p>BPM Pulse : Kit Tempo に合わせて暗く～明るく点滅します。</p> <p>BPM Pong : キットの調子とテンポに合わせて明るい「ドット」が左から右に移動します。</p>
Play Beat	Play Mode (BPM に沿っています) のとき、ビート分割の設定を行ないます。	1/2, 1/4, 1/8, 1/16
Stop Color	サウンドが再生されていないときのパッドとトリガーの LED の色を設定します。	Red, Coral, Deep Pink, Light Pink, Magenta, Purple, Plum, Blue, Sky Blue, Cyan, Aquamarine, Lime, Green, Yellow, Orange, Orange Red, White
Stop Mode	非アクティブ時のパッドとトリガーLED の色を設定します。	<p>Off : ライトを消します。</p> <p>Solid Dim : やや暗く点灯します。</p> <p>Solid Medium : やや明るく点灯します。</p> <p>Solid Bright : 明るく点灯します。</p> <p>BPM Pulse : Kit Tempo に合わせて暗く～明るく点滅します。</p> <p>BPM Pong : キットの調子とテンポに合わせて明るい「ドット」が左右に移動します。</p>
Stop Beat	Stop Mode (BPM に沿っています) のとき、ビート分割の設定を行ないます。	1/2, 1/4, 1/8, 1/16

Group

F5-Groupボタンでパッドグループの設定を行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
Sync Group	複数のパッドのトリガーを設定します。 各キットは最大 16 の Sync Groups を扱えます。	Off, 1-16
Sync Mode	Sync Group 内のパッドがどうトリガーされるかを設定します。	<p>Mute : Sync Group 内のパッドは互いをミュートします。</p> <p>Cycle : 同一 Sync Group 内のパッドは P1-9 から T1-6、FS1-4 の順番でトリガーされます。これは"RoundRobin"機能に似ています。</p> <p>Random : Sync Group 内のパッドはランダムな順序でトリガーされます。</p> <p>Together : グループ内の最大 9 つのパッドが同時に演奏されます。</p>

Copy

F6-CopyボタンでPad Copyを開きます。このメニューで次の機能を実行します。

- **Copy Selected Pad** : 左にハイライト表示されている現在選択されているパッドをコピーします。
- **Paste with Selected Pad** : コピーされたパッド（上記参照）を現在選択中のパッドにペーストします。

パッドをコピーするには :

1. コピーしたいパッドをヒットするか選択します。
2. **メイン・エンコーダ**を使って**Copy Selected Pad**を選び、エンコーダを押して選択します。コピーされたパッドの**キットとパッド情報**が表示されます。
3. ペースト先のパッドをヒットまたは選択します。どのキットのどのパッドも選択できます。コピーされたパッドは他のパッドがコピーされるか、Strike Multipadの電源がオフになるまで記憶されます。
4. **メイン・エンコーダ**で**Paste With Selected Pad**を選択し、押して決定します。コピー元のパッドは選択したパッドにペーストされます。2秒間確認画面が表示されます。

同じパッドをコピーしたり、新しいパッドをコピーしてやりなおすこともできます。

サウンド・メニューでは、WAV ファイルの選択とインポート、WAV ファイルをパッド、トリガー、フットスイッチのどのレイヤーにアサインするか (Wave A/Wave B)、WAV ファイルの設定、波形自体そのものの編集を行ないます。

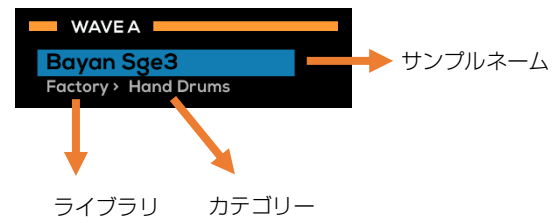
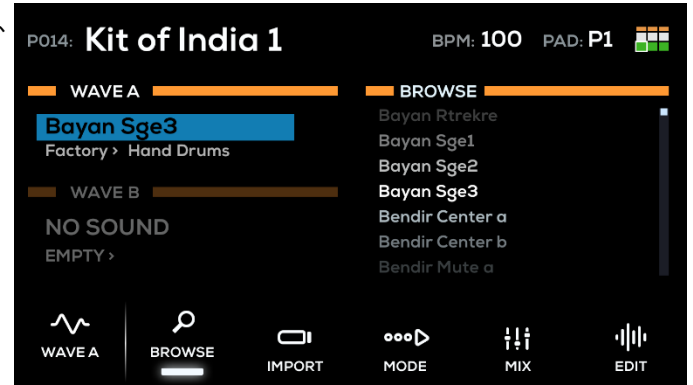
F1-Wave ボタンでいつでも Wave A と Wave B を切り替えることができます。

ブラウズ

F2-Browse ボタンで Browse メニューを開きます。内蔵の Factory サウンドの検索、サウンドの作成、インポートをここで行ないます。

メニューの左には編集可能な 2 つの Wave (Wave A/Wave B) が表示されます。WAVE セクションにはそれぞれ、サンプルネーム、**ライブラリ**>**カテゴリー**の各フィールドがあります。**メイン・エンコーダ**でエディットしたいフィールドを選びエンコーダを押して決定します。**メイン・エンコーダ**を回してサウンド、ライブラリー、カテゴリーをブラウズし、押し決定します。

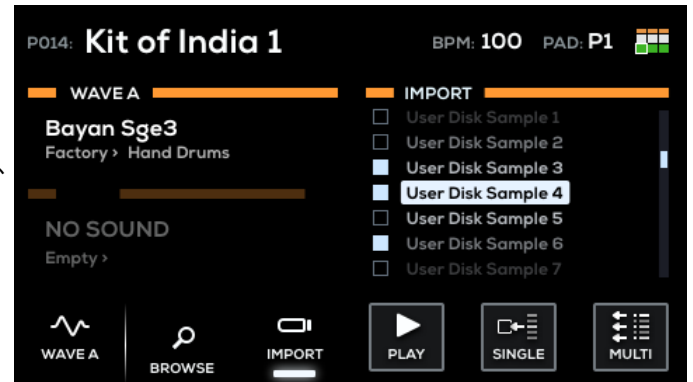
メニューの右側にはサウンドのリストが表示されています。



インポート

F3-Import ボタンで WAV ファイルを Strike Multipad に接続した USB フラッシュドライブ (マストレージクラス、FAT32 フォーマット) からインポートします。**メイン・エンコーダ**で右側に表示されている USB ドライブ内のサンプルをスクロールし、エンコーダを押して選択します。選択したら、左側にもサンプルネームが表示されます。

- **F2-Browse** ボタンを押して Import メニューを終了し、Browse に戻ります。
- **F4-Play** でハイライト表示したサンプルのプレビュー (試聴) ができます。プレビューを止めるときは **F4-Stop** を押します。
- **F5-Single** で選択したサンプルを 1 つロードします。サンプルが現在選択されているパッド、トリガー、フットスイッチに直接ロードされます。
- **F6-Multi** で複数のサンプルをロードします。選択したすべてのサンプルは、**User>New Sample** カテゴリに入ります。



Mode

F4-Mode ボタンで Mode メニューを開きます。サンプル再生のモードを調整します。

パラメータ	説明	値/設定
Playback Mode	ウェーブレイヤーの再生方法を設定します。	<p>OneShot : トリガーされたとき、サウンドは最後まで一回再生されます。</p> <p>Alter : パッドをヒットするとサンプルが再生され、もう一度ヒットすると停止します。</p> <p>Loop : パッドをヒットするとループ再生がスタートし、もう一度ヒットすると停止します。</p> <p>RoundRobin : Wave A と Wave B を交互に再生します。</p> <p>どちらかの Wave が RoundRobin に設定された場合もう片方の Wave も自動的に RoundRobin に設定されます。どちらかの Wave が RoundRobin モードから変更された場合、もう片方の Wave はデフォルトの One Shot (Mono) になります。</p>
Poly/Mono	<p>サンプル再生に使用できるボイスの数を設定します。</p> <p>注 : Playback Mode が Loop の場合は自動的に Mono に設定されます。</p>	<p>Mono : 同時に 1 つのボイスのみを再生します。</p> <p>Poly : 同時に複数のボイスの再生ができます。</p>

Mix

F5-Mix ボタンで Mix メニューが開きます。サンプル用のオーディオセッティングを行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
Volume	パッドの音量レベルを設定します。	000-100
Pan	ステレオフィールド内でのパッドのサウンドの位置を決めます。	L15-Center-R15
Fade In	パッドのサウンドにフェードインを付け加えます。	Off, 1-100%
Fade Out	パッドのサウンドにフェードアウトを付け加えます。	Off, 1-100%
Velocity High	ベロシティの上限を設定します。設定以上のベロシティでヒットしてもサウンドは鳴りません。	001-127
Velocity Low	ベロシティの下限を設定します。設定以下のベロシティでヒットしてもサウンドは鳴りません。	000-126
Prior	<p>Strike Multipad が再生する発音の優先順位を設定します。同時発音数は最大モノラル 32 音またはステレオ 16 音です。同時発音数の制限を超えたとき、ボイスは再生を停止し発音数の余裕を作ります。このパラメーターで停止するボイスの優先度を設定します。Low で音が止まりやすくなります。High では音が止まりにくくなります。</p> <p>注意 : ループ再生のサウンドは同時発音数制限の影響によって停止することはありません。</p>	Low, Medium, High

F6-Edit ボタンを押して Sound Edit メニューを開きます。ここでは様々な WAV ファイルの非破壊/破壊編集を行いません。

Factory Sample の破壊編集はできません。Factory Sample を編集する場合はまず **Copy to User** (Edit メニューに表示されている) を実行します。

サンプルが User Library にコピーされると、後述の機能が使えるようになります。

- **Rename** : 選択した Wave の名前を変更します。
- **Edit Start/End** : サンプルのスタート / エンドポイントを設定します。このページを表示中、以下の機能が使えます。

メイン・エンコーダを使用して、スタート / エンドポイントの両方を同時に動かします。

A-Link 1 と 2 のエンコーダを使用するとスタートポイントとエンドポイントを別々に調整できます。**A-Link バンク・ボタン**を使用して調整の細かさを設定できます。**粗調整は A、中くらいの場合は B、微調整をするときは C** を押します。

また、**ファンクションボタン**が以下の機能に対応します。

- **F1-Play/Stop** : サンプルを再生または停止します。
- **F3-Grid** : グリッドポイントのプリセットを調節します。**Free** を選択するとスタート / エンドポイントを自由に動かせます。**Grid 4、Grid 8、Grid 16** を選択すると Global BPM の値に基づき均等にマーカーを設定します。**A-Link エンコーダ**を動かすとスタート / エンドポイントがそれぞれにスナップします。
ループを編集したり大きなサンプルから小さな「スライス」を作るときに特に便利です。**BPM** ボタンを使用して Global Tempo を調整して、波形のグリッドポイントをサンプルテンポと正確に一致するまで動かします。
- **F4-Zoom** : 拡大表示と縮小表示を切り替えます。このボタンを押しながら**メイン・エンコーダ**を回してズームレベルを変えます。
- **F5-Save** : 編集したサンプルを保存します。
- **F6-Exit** : 保存せずに編集画面を終了します。
- **Normalize** : サンプルのノーマライズを行いません。**F1/F2** で **Overwrite** (上書き)、**F3/F4** で **Save As New** (新規保存)、**F5/F6** で **Cancel** です。新しいファイルはエディットされたファイルと同じ User Category に保存されます。
- **Pitch** : 上下最大 **1200 セント** のピッチ調整ができます。**メイン・エンコーダ**を使ってピッチチェンジの量を決定します。**F1/F2** を押して上書き、**F3/F4** で新規保存、**F5/F6** でキャンセルされます。新しいファイルはエディットされたファイルと同じ User Category に保存されます。
- **Reverse** : サンプルのリバース再生を行いません。**F1/F2** を押して上書き、**F3/F4** で新規保存、**F5/F6** でキャンセルです。新しいファイルはエディットされたファイルと同じ User Category に保存されます。
- **Copy** : サンプルを複製します。
- **Delete** : サンプルファイルを削除します。

重要 : この操作は確認が表示されず取り消しもできません。

ユーティリティ・メニュー

ユーティリティ・メニューで Strike Multipad のハードウェアおよびファームウェアのパラメーター設定を行ないます。

MIDI

F1-MIDI ボタンで MIDI メニューに入ります。Strike Multipad の MIDI 設定を行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
Global MIDI Channel	Strike Multipad の MIDI 送信チャンネルを設定します。	1-16
MIDI Sync	Strike Multipad が受信する外部 MIDI クロックに関する設定です。On のとき MIDI クロックは Global Tempo に優先します。	On, Off
Local Control	Strike Multipad が内部サウンドをトリガーするかどうかを設定します。	On, Off
MIDI Thru	MIDI 入力を受信した MIDI 信号を MIDI 出力にスルーするかどうかを設定します。	On, Off
Program Change Switch	Strike Multipad がプログラムチェンジメッセージを受けてキットを変更するかどうかを設定します。On にすると、Program Change Inc/Dec メッセージが Kit +/- ボタンとして機能します。Program Change Number とディスプレイに表示された Kit Number は一致します (バンク 0 =プリセット、バンク 1 =ユーザー)。	On, Off
5-Pin MIDI to USB	5 ピン MIDI DIN 端子を受信した MIDI を USB にスルーするかどうかを設定します。	On, Off

Audio

F2-Audio を押すと Audio メニューが開きます。Strike Multipad のオーディオ設定を行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
Rec In Vol	この設定で Record In のデジタルレベルを設定します。これはアナログゲインとは独立しています。	0-100
USB In Vol	USB オーディオ入力のレベルを設定します。	0-100
USB Out Vol	USB オーディオ出力のレベルを設定します。	0-100
Rec In Output	Record In のアナログ信号のルーティングを設定します。	Main, Aux, Phone
USB In Output	USB In からのデジタルオーディオ信号のルーティングを設定します。	Main, Aux, Phone
System Gain	Main 出力用のデジタルゲインを設定します。	0dB, 6dB, 12dB
FX1 Output	FX1 のオーディオルーティングを設定します。	Main+Phone, Aux+Phone
FX2 Output	FX2 のオーディオルーティングを設定します。	Main+Phone, Aux+Phone
FX3 Output	FX3 のオーディオルーティングを設定します。	Main+Phone, Aux+Phone

F3-Triggers ボタンを押して Triggers メニューを開きます。リアパネルにある 5 つの Trigger In 端子(1, 2/3, 4/5)の詳細な設定を行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
EXT Trigger	Trigger In の設定を行ないます。使用できるオプションは選択されているトリガーによって変わります。	TRIN 1, TRIN 2, TRIN 3, TRIN 4, TRIN 5
TRIN1		
Type	トリガーコントロールのタイプを選択します。	Velocity : トリガーは可変するベロシティ値を送信します。 Switch : トリガーは固定ベロシティのオン / オフのみを送信します。
Scan Time	Type が Variable に設定されているとき、Strike Multipad のファームウェアがヒットを検出するための電圧をスキャンする時間を設定します。低い設定ではレイテンシーを下げられますが、動作精度は下がります。	1-20ms
Retrig-C	Type が Variable に設定されているとき、この設定により二重トリガーを減らすことができます。値を大きくすると二重トリガーは少なくなります。設定が高すぎるとロールなどの速いプレイをトリガーが取りこぼす可能性があります。	0-32
Mask Time	Type が Variable に設定されているとき、この設定は二重トリガー軽減のために Retrig-C と連動して機能します。	1-50ms
X-Talk	Type が Variable に設定されている場合、このセッティングを上げるとセンターを叩いたときがリムが鳴ったり、リムをヒットしてセンターのサウンドをトリガーされる、といった動作を軽減できます。	0-32
Fix Lev	Type が Switch 設定のとき、トリガーから送られる固定ベロシティの値を設定します。	0-127
TRIN2-5		
Type	トリガーコントロールのタイプを選択します。	2 Trigger : 2 つのドラムトリガーを接続するための TRS - dual-TS スプリッターを使用します。 Head+Rim : デュアルゾーンドラムトリガーを接続します。
Scan Time	前の記述を参照してください。	1-20ms
Retrig-C	前の記述を参照してください。	0-32
Mask Time	前の記述を参照してください。	1-50ms
X-Talk	前の記述を参照してください。	0-32
Rim Gain	Type が Head+Rim のとき、リムゾーンの感度を設定します。	0-32

Pedals

F4-Pedals ボタンを押すと Pedals メニューが開きます。リアパネルの 3 つの Foot Control 接続(HH, 1/2, 3/4)を調整できます。

パラメータ	説明	値/設定
Pedal	ペダルの設定を行ないます。使用できるオプションは選択されているペダルによって変わります。	HH, FC1, FC2, FC3, FC4
Type	フットスイッチコントロールのタイプを選択します。	Velocity : ハイハットペダルまたはフットスイッチは可変するベロシティ値を送信します。 Switch : ハイハットペダルまたはフットスイッチは固定ベロシティのオン / オフのみを送信します。
HH		
Fix Level	Type が Switch 設定のとき、送られる固定ベロシティの値を設定します。	0-127
Op Pos / Cl Pos	Type が Variable に設定されている場合、ハイハットの Open Position と Close Position のベロシティを決定します。	0-127
FC		
Polar	フットスイッチのポラリティを設定します。	Normal, Inverse

System

F5-System で System メニューが開きます。Strike Multipad のシステム設定を行ないます。

パラメータ	説明	値/設定
Display Brightness	ディスプレイの明るさを設定します。	1-100
Auto Power-Off	Strike Multipad を一定時間使用していないときに自動的にシャットダウンする時間を設定します。	Off, 30min, 60min
Firmware Version	現在のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアのアップデートに関しては alesis.com を参照してください。	現在のファームウェアのバージョン

Strike Multipad 用の新しいファームウェアがリリースされ、新機能や修正の問題が追加されることがあります。alesis.com プロダクトページにおいて Strike Multipad の新しいファームウェアをチェックしてください。Strike Multipad が現在実行しているファームウェアのバージョンは **ユーティリティ > System** メニューで確認できます。

Strike Multipad のファームウェアをアップデートするには：

1. コンピューターにファームウェアをダウンロードします。
2. USB フラッシュドライブ(マスタストレージクラス、FAT32 フォーマット) をコンピューターの USB ポートに接続し、ファームウェアを USB ドライブの **ルートレベル** にコピーします。Strike Multipad はルートレベルではない下位フォルダーに収録されているファームウェアを読み取ることができません。
3. Strike Multipad の電源が切れた状態で USB ドライブをリアパネルの **USB メモリー** 端子に差し込みます。
4. **BPM** と **クリック** ボタンを同時に押しながら Strike Multipad の電源を入れます。
5. Strike Multipad は自動的にファームウェアアップデートを検出し、アップデートを開始します。ディスプレイには進捗状況が表示されます。

重要：アップデート中は Strike Multipad の電源を切らないでください。本体と USB ドライブにダメージを与えることがあります。

6. ファームウェアアップデートが終了すると、Strike Multipad のディスプレイにアップデート成功のメッセージが表示され、再起動を要求します。電源を一旦切って再度入れ直します。これで最新ファームウェアになりました！

バックアップ

F6-Backup ボタンを押して Backup メニューを開きます。接続された USB フラッシュドライブ（マスタレージクラス、FAT32 フォーマット）にキットデータのバックアップを作成できます。また管理も行なえます。

- **Save All User Kits** : User キットをすべて USB フラッシュドライブに保存します。
 1. USB フラッシュドライブがリアパネルの **USB メモリー** 端子に挿さっていることを確認してください。
 2. **ユーティリティ>Backup** メニューで **Save All User Kits** をハイライト表示して、**メイン・エンコーダ** を押します。
 3. バックアップファイルに番号を割り当てることができるウィンドウが表示されます。これにより USB ドライブに複数のバックアップを保存できます。
 4. **メイン・エンコーダ** を押して保存します。**F6-Exit** を押して保存せずに終了します。
 5. 保存中、ディスプレイに進行状況のウィンドウが表示されます。
 6. 完了すると **Strike** という名前のフォルダーが USB ドライブに作成されています。バックアップファイルは **BackUp** というサブフォルダーの中に保存されています。
- **Load All User Kits** : すべての User キットのファイルを USB フラッシュドライブからロードします。
 1. USB フラッシュドライブがリアパネルの **USB メモリー** 端子に挿さっていることを確認してください。
 2. **ユーティリティ>Backup** で **Load All User Kits** をハイライト表示して、**メイン・エンコーダ** を押します。
 3. 次のページで使用可能なバックアップファイルがすべて表示されます。**メイン・エンコーダ** でロードしたいバックアップファイルを選択しエンコーダを押して確定します。**F6-Exit** でロードせずに終了します。
- **Restore Factory Settings** : Strike Multipad を工場出荷時の設定に戻します。リセットに設定すると、それを促すウィンドウが表示されます。**メイン・エンコーダ** を押して確認します。リセットが自動的に始まります。

重要 : この操作は取り消せません。ファクトリーリストアは保存されている User キットをすべて消去します。

その他の機能

エフェクト

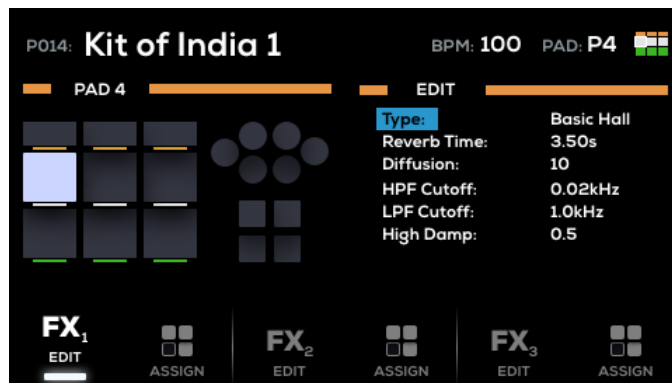
Strike Multipad は最大 3 つの内蔵 Kit FX を使用できます。これはすべてのパッド、トリガー、フットスイッチに適用できます。Master FX はキット全体にかけることができます。

内容とパラメータについては [付録>エフェクト](#) を参照してください。

Kit FX

Kit FX を押して Kit FX メニューに入ります。ディスプレイの左側にパッド、トリガー、フットスイッチの外観が表示されます。ディスプレイの右側でエフェクトのブラウズとパラメータの調整が可能です。

- FX のパラメータを編集するには F1-FX1 Edit、F3-FX2 Edit、F5-FX3 Edit ボタンを押します。
- パッド、トリガー、フットスイッチに FX を割り当てるには、F2-FX1 Assign、F4-FX2 Assign、F6-FX3 Assign ボタンを押したまま割り当てたいパッド、トリガー、フットスイッチをヒットします。選択されたパッド、トリガー、フットスイッチはディスプレイの左側にハイライト表示されます。



Master FX

MST FX ボタンを押して Master FX メニューに入ります。任意のエフェクトを割り当てることのできるスロットが 1 つと、Compressor と EQ があります。

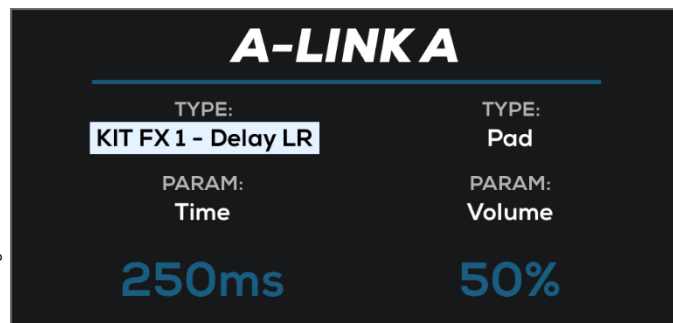
- FX パラメーターを編集するには、F1-FXM Edit、F3-Comp Edit、F5-EQ Edit ボタンを押します。
- F2-FXM、F3-Comp、F4-EQ ボタンを押すとマスターエフェクトのオン/オフが切り替わるので適用したエフェクトを確認できます。Master FX スロットが On に設定されていることは Perform モードで F5-MFX ボタンを押しても確認できます。



A-Link

A-Link エンコーダでよく使うパラメーターを自由に割り当てることができます。これにより簡単にアクセスできます。2つの A-Link エンコーダは最大 3 つの割り当てを保持できます。**A-Link** バンクボタンで呼び出します。一度にアクティブにできるのは 1 つのバンクのみです。

A-Link バンクボタンを押すか、A-Link エンコーダを回すとポップアップが表示され現在のパラメーターと値が示されます。



A-Link 割り当てを編集するには：

1. A-Link バンクボタン(A、B、C)を長押しします。バンクボタンが点滅します。A-Link ウィンドウがディスプレイに表示されます。
2. **メイン・エンコーダ**で **Type for A-Link Encoder 1** または **2** をハイライト表示して、エンコーダを押して決定します。
3. **メイン・エンコーダ**で A-Link タイプ (MFX、FX1-3、PAD-Wave A、PAD-Wave B、PAD-Output) の中で目的のものを選択し押し決定します。
4. **メイン・エンコーダ**で **A-Link Encoder 1** もしくは **2** の **Param** フィールドを選択しエンコーダを押して選択します。
5. **メイン・エンコーダ**で目的のパラメーターを選択します。

A-Link 割り当てはキットに保存することができます。キットの保存に関しては **メニュー > ユーティリティ・メニュー > バックアップ**を参照してください。

Pad Cue (パッドキュー)

Pad Cue を使うと**ヘッドフォン出力**を使ってサウンドのオーディションができます。これはオーディエンスに音を聞かせることなくサウンドをプレビューするときに便利です。

また Pad Cue がアクティブなとき、**メイン・エンコーダ**でパッド、トリガー、フットスイッチを選択することができます。これは Strike Multipad に現在接続されていないトリガーやフットスイッチのパラメーターを編集するときに便利です。

Pad Cue ボタンを押すと **Pad Cue** が有効になります。有効になっているとき：

- **Pad Cue** ボタンおよび **F1-F5** ボタンが点滅し、ディスプレイに Pad Cue ウィンドウが表示されます。
- Pad Cue が有効になる前に **Main** または **Aux** から出力されていたサウンドは引き続き再生されます。Pad Cue が有効になった後にトリガーされたサウンドはすべて**ヘッドフォン出力**に直接送られます。
- Pad Cue 有効時、一度に 1 つのパッドのみヘッドフォンで聞くことができます。

サウンドを選択するには、パッド、トリガー、フットスイッチをヒットするか**メイン・エンコーダ**を使います。

サウンドをプレビューするには、パッドをヒットするか **F6-Play/Stop** ボタンを押します。サウンドが鳴っているとき、**F6-Play/Stop** ボタンをもう一度押すと再生が止まります。

プリセットカテゴリー

- Chinas Acoustic
- Crashes Acoustic
- Crashes Electronic
- Hand Drums
- HiHats Acoustic
- HiHats Electronic
- Hybrid Elements
- Kicks Acoustic
- Kicks Electronic
- Loops Acoustic Guitar
- Loops African Drums
- Loops Arabic
- Loops Dance
- Loops Dance Drums
- Loops DnB
- Loops DnB Drums
- Loops EDM
- Loops House
- Loops Jazz
- Loops Latin Drums
- Loops Pop
- Loops Pop Drums
- Loops RnB
- Loops Rock
- Loops Rock Perc
- Loops SFX
- Melodic
- Multi Samples
- Percussion Electronic
- Mallets
- Percussion Orchestra
- Percussion Toys
- Rides Acoustic
- Rides Electronic
- Snares Acoustic
- Snares Electronic
- Sound Effects
- Splashes Acoustic
- Toms Acoustic
- Toms Electronic
- Timpani
- SFX

エフェクト

キットエフェクト

エフェクト名	パラメーター				
Bypass					
Basic Hall / Ballad Hall	Time	Diffuse	HPF Frequency	LPF Frequency	Hi-damp
Echo / Delay LR	Time	Feedback			
Chorus 1 / 2	Frequency	Depth	Feedback	Phase Difference	
Flanger 1 / 2	Frequency	Depth	Feedback	Phase Difference	
Phaser 1 / 2	Frequency	Depth	Feedback	Phase Difference	
Tremolo 1 / 2 / 3	Frequency	Am Depth	Pm Depth	Phase Difference	
Touch Wah 1 / 2	Depth	Cutoff	Resonance	Hi-gain	Sensitivity
Pitch Change 1 / 2	Pitch	Cent	Feedback		
Lofi 1 / 2	Sample Rate	Hi-cut	Filter	Resonance	
Amp 1 / 2	Drive	Amp Type	Lo-cut	Output	
RFilter 1 / 2	Frequency	Step	Depth	Resonance	
RFlanger 1 / 2	Frequency	Step	Depth	Feedback	
RingMod 1 / 2	Pre-LPF	Frequency	Depth		

マスターエフェクト

エフェクト名	パラメーター					
Bypass						
Basic Hall / Ballad Hall	Dry/Wet	Diffuse	HPF Frequency	LPF Frequency	Time	
Chorus 1 / 2	Dry/Wet	Depth	Feedback	Phase Difference	Frequency	
Phaser 1 / 2	Dry/Wet	Depth	Feedback	Phase Difference	Frequency	
Touch Wah 1 / 2	Dry/Wet	Cutoff	Resonance	Hi-gain	Sensitivity	Depth
Pitch Change 1 / 2	Dry/Wet	Pitch	Cent	Feedback		
Lofi 1 / 2	Dry/Wet	Hi-cut	Filter	Resonance	Sample Rate	
Amp 1 / 2	Dry/Wet	Amp Type	Lo-cut	Output	Drive	
RFilter 1 / 2	Dry/Wet	Step	Depth	Resonance	Frequency	
RFlanger 1 / 2	Dry/Wet	Step	Depth	Feedback	Frequency	
RingMod 1 / 2	Dry/Wet	Frequency	Depth	Pre-LPF		
Filter 1	Mode	Slope	Cutoff	Resonance	Rate	Depth
Flanger 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / GM	Frequency	Depth	Feedback	Phase Difference	Dry/Wet	
Rear Slicer / Manual Slicer / Fore Slicer	Rt Sync	Speed	Loop Length	Loop Volume	Dry/Wet	
Echo / LR (Delay) / LCR 1 (Delay) / LCR 2 (Delay) / Cross (Delay) /	Time	Feedback	Dry/Wet			
Tremolo 1 / 2 / 3	Frequency	Am Depth	Pm Depth	Phase Difference		
Compressor	Threshold	Attack	Release	Ratio	Level	
EQ	Low Freq.	Low Gain	Mid Freq.	Mid Gain	Mid Q	High Freq. High Gain

仕様

コネクター	1/4" (6.35 mm) TRS オーディオ出力 x4 1/4" (6.35 mm) TRS ヘッドフォン出力 x1 1/8" (3.5 mm) TRS ヘッドフォン出力 x1 MIDI DIN 出力/スルー入力 x1 1/4" (6.35 mm) TRS オーディオ出力 x2 1/4" (6.35 mm) TS トリガー入力 x1 1/4" (6.35 mm) TRS トリガー入力 x2 1/4" (6.35 mm) TRS HH ペダル入力 x1 1/4" (6.35 mm) TRS フットスイッチ入力 x2 MIDI DIN 入力 x1 USB B タイプ端子 x1 USB A タイプ端子 x1 電源アダプター入力 x1
USB ドライブ	サポート・フォーマット: FAT32 サポート・ファイルタイプ: 16-bit、モノラルまたはステレオ、サンプリングレート 44.1KHz1
電源	アダプター: 9.2 VDC、1,300 mA 電圧: 最大 100-240 V、50/60 Hz、0.4A
サイズ (W x D x H)	13.75" x 14" x 3" 349.25 x 355.6 x 76.2 mm
重量	8.5 lbs. 3.85 kg

※仕様は予告なしに変更することがあります。

商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。